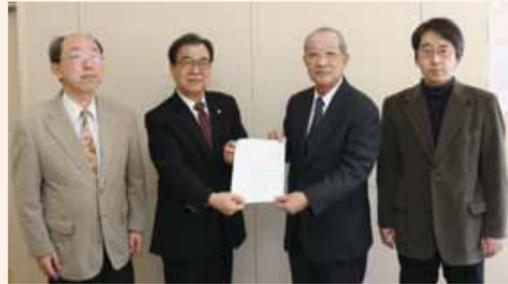


### 学生のために役立てて 角館感恩講が市に寄付金

3月2日、一般財団法人角館感恩講（加賀谷宏一理事長）から、奨学金事業に役立ててほしいと、市教育委員会に寄付金15万円が贈られました。角館感恩講事務局（仙北市社会福祉協議会2階）で行われた贈呈式で、加賀谷理事長は「勉学に励む学生のために役立ててもらえるよう、これからも続けていきたい」と話し、熊谷徹教育長に目録を手渡しました。



熊谷徹教育長（左から2人目）に寄付金の目録を手渡す角館感恩講の加賀谷宏一理事長（右から2人目）、田口秀成常務理事（右端）、河原田次朗理事事務長（左端）。

### サッカー U-12 飯島健斗くんが県ベストイレブン

（一社）秋田県サッカー協会は2月12日、小・中・高校世代の各ベストイレブンを発表し、仙北市からFC角館セレジュスタに所属していた飯島健斗くんが選出されました（角館小6年時）。飯島くんは4月から拠点を仙台に移し、プロサッカーチーム「ベガルタ仙台」のジュニアユースに所属。これまで、副キャプテンとして、また、ディフェンダーの要としてチームを引っ張ってきた飯島くんは「プロを目指したい。仙台ではレギュラーになって東北大会で優勝したい。まわりのレベルは高いが、そこにチャレンジしていくことが楽しみ」と力強く話しました。



3月9日、仙北市役所角館庁舎に報告に訪れた飯島くん。4月から新天地での活躍に期待が高まります。



田沢湖の再生に向けた研究成果を発表する大曲農業高校生物工学部の生徒たち。

### 田沢湖再生へ着実な一歩踏み出す 大曲農高の生徒が研究活動を報告

2月21日、大曲農業高校の生物工学部の生徒が田沢湖庁舎を訪れ、研究活動の報告会を行いました。昨年9月に同校と仙北市が、お互いの人材や資源を活用し、農業振興や環境教育の充実に取り組む連携協定を締結して以来、初めての報告会となりました。

今回の発表テーマは「玉川・田沢湖の中性化システムとその検証」というもので、田沢湖再生検討会の委員や市役所関係者など約40人が出席し、最新の活動成果を熱心に聞き入りました。発表の内容で特に注目されたのは、酸性水を電気分解によりpH1からpH3にした後、石灰石によりpH3からpH5に、さらに活性炭を用いてpH5からpH6に中和していくもので、最終的には、植物のASHによって中性のpH7を目標とする実験でした。すべての発表が終わると、門脇市長をはじめ、田沢湖再生検討会の委員などから矢継ぎ早に様々な質問があり、生徒や顧問の先生が丁寧に答える場面が見られました。今後は、今回注目された中性化の方法4種類の長所をそれぞれ組み合わせて、より効率的なシステムの構築を目指すということです。今後のさらなる活動成果が期待されます。

中村輝子様から寄贈された高井先生の直筆による原稿の一部。



### 作家高井有一先生の 直筆原稿など寄贈

このほど、昨年10月にご逝去された新潮社記念文学館の名誉館長で作家の高井有一先生が所有する蔵書や原稿が、夫人の中村輝子様より仙北市学習資料館・イベント交流館（新潮社記念文学館）に寄贈されました。膨大な蔵書と貴重な直筆原稿は、今後「高井有一文庫」として整理し、新潮社記念文学館の展示・研究資料として活用する予定です。

### 食べる大切さ学ぶ食育講話会

バランスよく食べて元気に  
2月17日から28日にかけて、仙北市食育推進協議会の事業の一環で、市内の保育園や認定こども園で、園児たちを対象に食育講話会が開催されました。この講話会は、園児たちに食べることの大切さを学んでもらおうと昨年に続き開催したもので、3食きちんとバランスよく食べるための知識や、ゲームなどを通じて楽しく学びました。



野菜やお肉、魚などをバランスよく食べることの大切さを学ぶにこにこ保育園の園児たち。

### 給食にねばりごしクッキー



地場食材の利用拡大  
3月7日に大曲支援学校せんぼく校、3月9日に市内小中学校の給食に、角館町白岩地区で栽培している小麦「ねばりごし」を使用したクッキーが提供されました。これは、仙北市食育推進会議の事業の一環で、子どもたちに地場食材を味わってもらい、地産地消を進めようという行われたものです。クッキーの味に子どもたちは、「美味し」と笑顔を見せていました。



ねばりごしクッキーを食べた西明寺小学校の児童たちは、サクサクした味わいに満足そうでした。

### 第21回東北空手道選手権大会 佐々木雄くんが優勝



山形県で開催された第21回東北空手道選手権大会で優勝した佐々木雄くん（左）と武心会角館本部道場の湯澤浩一師範（右）。

2月5日、第21回東北空手道選手権大会が山形県総合運動公園メインアリーナで開催され、小学1年の部に出場した武心会角館本部道場（湯澤浩一師範）の佐々木雄くん（角館小）が東北各県の選手によるトーナメントを制し優勝を果たしました。この成績により、佐々木くんは来年2月に大阪府立体育館で開催される世界のジュニア選手が出場するWKO世界空手連盟主催のジャパンアスリートカップの東北代表に選ばれました。さらなる活躍が期待されます。